

①学部では、「現代政治論」と「比較政治論」を担当。②専門分野と研究領域～専門分野は政治学および政治社会学。研究領域は、比較政治、政治・行政制度論、国家論、政治運動論、現代フランス政治等。

1. 専門演習の目標

日本の政治・行政の制度的・実態的特徴、日本の政治文化・政治意識、政治思想などについて整理の上に立って、現実政治への理解を深め、主体的に生きていく上での展望を探る。

2. 専門演習で扱う課題と内容

まず、現代日本政治の歴史と構造を理解するための基礎となる主要文献を精読し、「いま」の政治を理解する上での「土台」を作る。ついで、各時期の特質を知る手がかりとなる主要な政治的論点を抽出し、政治の「流れ」を理解する。さらに、政治学を取り巻く最新の理論状況も把握する意味で、文献を取りあげて、議論することも試みたい。また、必要に応じて、調査やアンケートなどを行い意識・行動調査も行うことも可能である。

3. 授業の進め方・内容

基本的に3回生時には、できるだけ多くの文献を読み、「読んで理解する力」をつけたい。その中で、問題意識を醸成し課題を発見していく作業を行う。4回生では、各自の希望するテーマにそって研究発表を行い、卒業論文としてまとめる作業を行う（これまで卒業したすべての学年で論集を発行してきた）。

4. 必要とする知識

歴史認識、他者へのまなざし

5. 関連する分野・科目・知識

歴史学、社会学、経済学、国際政治・社会学

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

授業の中で指示する。

7. 独自に付加する選考方法

基本的に書類選考で行うが、希望者が多い場合には、面接を行って選考する。

8. 受講生に望むこと

読む力、理解しまとめる力、書く力、構想する力、創造する力、議論を組織し進める力、行動する力を身につけたい人。努力をし、忍耐力・向上心・克己心のある人、真面目な人を望む。ゼミではとくに主体的参加・学習への自覚が大事なので、積極的発言や議論、自学・自習を厭わない人が望ましい。

また、毎年合宿を行い研究成果の発表とゼミ員同士の親睦をはかっており、積極的に参加する意思のある人を望む。